

## 16. (Gno.46) 国際法過程の研究 (国際関係法研究会)

代表：宮野 洋一

2002 年度 (開始)

### 【研究の目的】

具体的な国際法のルール、たとえば条約の、形成、実現、紛争処理に関わる諸問題を、対内・対外両側面に涉り多面的に検討することを通じて、裁判や法解釈にかたよらない、国際法過程の動的な全体像を解明する。

### 【研究活動及び成果】

#### 口頭発表

今年度は以下の研究会を開催した。

中央大学国際関係法研究会

2024/4/20 第 99 回研究会

山下朋子氏 (愛知県立大学准教授)

「国際投資の合法性と社会的操業許可－先住民の権利との関係で－」

久保庭慧氏 (文教大学講師)

「国際法は「都市」を包摂できるか」

2024/7/20 第 100 回研究会

小島千枝 (中央大学法学部教授)

「海洋における抗議活動と国際法－欧州人権裁判所 2023 年 6 月 27 日判決 Bryan 対ロシアを手掛かりにして－」

尾崎久仁子 (中央大学法学部特任教授)

「武力紛争とテロ犯罪の訴追・処罰」

小坂田裕子 (中央大学大学院法務研究科教授)

「欧州人権条約第 3 条の違法性審査における人間の尊厳概念の役割－欧州人権裁判所 2015 年 9 月 28 日大法廷判決 Bouyid 対ベルギー」

北村泰三 (中央大学名誉教授)

「庇護の外部化と国際法」

西海真樹 (中央大学法学部教授)

「戦間期の国際法思想－レオン・ブルジョワとジョルジュ・セル」

柳井俊二 (元国際海洋法裁判所所長、元中央大学法学部教授)

「ITLOS 判事の 18 年－海洋における法の支配に対する ITLOS の貢献－」

2024/11/09 第 101 回研究会

藤田大智氏 (横浜国立大学講師)

「欧州人権裁判所 (大法廷)、Verein KlimaSeniorinnen Schweiz 判決の意義に関する一考察」

佐々木亮氏 (聖心女子大学講師)

「『国際高等教育圏』の国際法的考察－外国学修歴承認の条約による保障と教育の機会均等－」

2024/4/20 特別研究会

藤田早苗 (エセックス大学)

日本比較法研究所 2024 年度共同研究

「国連での活動、CEDAW による日本政府報告書審査」

2025/2/1 102 回研究会

永井文也氏（神田外語大学講師）

「先住民族の国連参加に関する規範と実践をめぐる近年の動向」

小寺智史氏（西南学院大学教授）

「国際環境法における「規範の多重性」の発現形態とその変容」